

2003年9月16日(火)―9月28日(日) 9月22日(月) 休み
 東京国立近代美術館フィルムセンター 小ホール(地下1階)

主催：東京国立近代美術館フィルムセンター、社団法人映像文化製作者連盟
 料金：一般500円/高校・大学生・シニア300円/小・中学生100円
 一般お問い合わせ：03-5777-8600(ハローダイヤル)、03-3501-0236(映像文化製作者連盟)
 映像文化製作者連盟URL：http://www.eibunren.or.jp/

■シニア(65歳以上)の方は、必ず年齢を証明できるものをご提示ください。

小ホール：定員=151名(各回入替制) / 発券=地下1階受付

- 観覧券は当日・当該回のみ有効です。
- 発券・開場は開映の30分前から行い、定員に達し次第締切となります。
- 開映後の入場はできません。

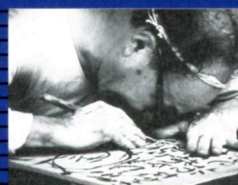
戦争と復興、教育と学校、科学と生命、
 高度成長と環境破壊、美術と伝統芸能……
 現代史をくまなく捉えた、記録映像の限らないインパクト!



社団法人 映像文化製作者連盟
 創立 50 周年 記念

短篇映像メディアに見る現代日本

“短篇映像プロダクション”の先達は、第二次世界大戦後、戦争の傷あとがまだ癒えぬ頃、学校の講堂や教室に新しい民主主義の息吹を届け、あるいは産業界と市民の橋渡し役を引き受けることから、活動をはじめました。この連続上映会は、そんな「映画館の外に出た」映像メディアの、約半世紀の歴史です。



プログラム

1. 中国大陸からの報告 ― 戦時下の文化・記録映画1 …… (2作品97分)
2. 戦争に備える日本人 ― 戦時下の文化・記録映画2 …… (3作品125分)
3. 民主主義の新日本へ ― 復興期の作品から …… (4作品120分)
4. 教育映画で学校を変える ― 社会科教材映画大系 …… (5作品89分)
5. 名作 教育・記録映画の人間像 …… (3作品100分)
6. 顕微鏡からナノ・ワールドへ ― 科学映画の挑戦1 …… (5作品126分)
7. 生命の謎・宇宙の極限を探る ― 科学映画の挑戦2 …… (5作品130分)
8. 産業社会の基盤を築く ― 成長期の産業技術映画1 …… (3作品127分)
9. ものづくり立国への道標 ― 成長期の産業技術映画2 …… (4作品125分)
10. 豊かな暮らしへの新技術 ― 成長期の産業技術映画3 …… (4作品119分)
11. 技術の進歩と労働の変容 ― 成長期の産業技術映画4 …… (3作品101分)
12. 公害・環境汚染と向きあう …… (3作品89分)
13. ヒロシマ・ナガサキと沖縄の記録 …… (5作品108分)
14. 新鮮な企画を ― スポンサーシップの試み …… (3作品104分)
15. 美術映画の傑作たち ― 文化遺産を伝える1 …… (4作品112分)
16. 芸能行事を記録する ― 文化遺産を伝える2 …… (3作品122分)
17. トップランナーたちの肖像 ― 科学・技術分野の近作から …… (3作品129分)
18. 日本文化の再発見 ― 文化・記録分野の近作から …… (4作品123分)



プログラム1

9/16(火)0:30pm 9/27(土)1:30pm

**中国大陸からの報告
一戦時下の文化・記録映画1** [2作品97分]**娘々廟会(にやんにやんめやをほい)**

1939年 | 製作:満鉄映画製作所 | 亀井 芥川光蔵 藤井 井 20分・35mm・白黒 ▶満州(中国東北部)大石橋の娘々廟に詣る農民の習俗、春の祭りの賑わいをあたたかく描いた佳篇。

支那事変後方記録 上海

1938年 | 製作:東宝文化映画部 | 米澤秋吉 三木茂 亀井 文夫 | 77分・16mm・白黒 ▶三木茂が中国で取材したフィルムを亀井文夫が編集。戦意高揚を目的として製作されながら、情景の即物的描写(三木)と巧みな編集(亀井)によって、単なる戦場の記録を超え、戦争の空しさをにじませる傑作となった。

プログラム2

9/16(火)3:30pm 9/28(日)10:30am

**戦争に備える日本人
一戦時下の文化・記録映画2** [3作品125分]**空の神兵**

1942年 | 製作:日本映画社 | 渡辺 義美 高木 東六 | 55分・35mm・白黒 ▶陸軍落下傘部隊の訓練を記録。海軍落下傘部隊によるセレス奇襲のニュース映画が、国民に大きな昂揚感を与えた後に発表。

勝利への生産

1942年 | 製作:芸術映画社 | 水木 庄也 本田 延三郎 橋本 龍雄 | 35分・35mm・白黒 ▶戦時下の労働力不足を克服しようとする起重機工場の人々を描く。

或る保姆の記録

1942年 | 製作:芸術映画社 | 厚木 たか 水木 庄也 | 35分・16mm・白黒 ▶戦時下、働く母と子どもたちの生活。東京大井の労働者街の私立保育所が舞台。ソープ・ドキュメントとしても(厚木は陸軍情報部から、戦時教育的内容を加えるよう圧力を受けている)、その制作手法の面でも、後述する「教室の子供たち」(プログラム5)に先駆ける要素をもつ画期的作品。

プログラム3

9/16(火)6:30pm 9/24(水)3:30pm

民主主義の新日本へ―復興期の作品から [4作品120分]**こども議会**

1947年 | 製作:東宝教育映画 | 丸山 章郎 丸山 章治 | 18分・35mm・白黒 ▶民主主義の精神とルールを示す啓発映画。青空の下、子供たちの真剣な討論が、新しい時代の息吹を伝える。

炭坑

1947年 | 製作:日本映画社 | 加納 竜一 伊東 寿恵男 柳沢 寿男 | 33分・35mm・白黒 ▶終戦直後、戦災、労働力不足、物資の隠匿横流しで、経済は容易に復興の軌道に乗れなかった。政府は、資金や資材を、石炭や鉄鋼などの基幹産業に「傾斜的に投入する」傾斜生産政策をとった。北海道美唄炭鉱で長期ロケ。

生きているパン

1948年 | 製作:日本映画社 | 石本 統吉 太田 仁吉 奥山 大六郎 小林 米作 | 18分・35mm・白黒 ▶イースト菌の動きを顕微鏡と微速度撮影で捉えた。食糧難の時代に、興味深く観られた。

空気のなくなる日

1949年 | 製作:日本映画社 | 石本 統吉 伊東 寿恵男 俳 優 座 | 51分・35mm・白黒 ▶ハレー彗星の接近で地球から空気が吸い取られるという噂に翻弄される村人達を描く。児童劇映画の古典。出演は俳優座で、花沢徳衛が欲の張った自転車屋を演じている。

プログラム4

9/17(水)0:30pm 9/27(土)4:30pm

**教育映画で学校を変える
一社会科教材映画大系** [5作品89分]**流れ作業**

1950年 | 企画:社会科教材映画大系審議会 | 製作:東宝教育映画 | 松平 幸彦 西沢 豪 | 18分・35mm・白黒

青果市場

1950年 | 企画:社会科教材映画大系審議会 | 製作:科学映画社 | 岩堀 喜久雄 | 18分・16mm・白黒

新聞のはたらき

1950年 | 企画:社会科教材映画大系審議会 | 製作:理研映画社 | 村山 英治 岡野 敏 | 20分・16mm・白黒

私たちの新聞

1951年 | 企画:社会科教材映画大系審議会 | 製作:日本映画社 | 多高 隆 柳沢 寿男 橋本 正 | 21分・16mm・白黒

はえのいない町

1951年 | 企画:社会科教材映画大系審議会 | 製作:岩波映画製作所 | 羽仁 進 村治 夫 吉野 馨治 | 12分・16mm・白黒

▶終戦後「文化映画」の強制上映制度が廃止され、短篇映画の業界は劇場上映の市場を失う。しかし、GHQにより16mm映写機「ナトコ」1300台が'48(昭和23)年、全国の学校に無償贈与され、これを、情報インフラとして、戦後の教育映画市場が形成される。社会科教材映画大系は、教材映画を求めた現場の教育者の発案に、映画製作者が応えて実現。'47(昭和22)年に(社会科)が教科目として創設されたことを受け、戦時下に亀井や厚木によって撒かれた種(記録映画の理念)が、初めて本格的に芽吹く季節の到来となった。

プログラム5

9/17(水)3:30pm 9/28(日)1:30pm

名作 教育・記録映画の人間像 [3作品100分]**教室の子供たち ― 学習指導への道**

1954年 | 企画:文部省視聴覚課 | 製作:岩波映画製作所 | 小口 禎三 羽仁 進 藤原 季彦 | 29分・35mm・白黒 ▶東京のある小学校2年生の教室に取材。あらかじめ書かれたシナリオに沿ってではなく、カメラが記録した素材を吟味し、シナリオを組み替えてゆく制作手法の清新なりリズムは、記録映画の方法論に一石を投じた。

ひとりの母の記録

1955年 | 製作:岩波映画製作所 | 小口 禎三 岩佐 氏 寿 京極 高英 | 39分・16mm・白黒 ▶信州伊那谷、養蚕農家の嫁として働きつづめる一人の女性の姿を描く。

九十九里浜の子供たち

1956年 | 製作:東映教育映画部 | 岩佐 氏 寿 豊田 敬太 浦島 進 | 32分・35mm・白黒 ▶漁村の中学校における長期欠席生徒への対策をテーマとした生活記録。経済成長の一方、農山漁村の子どもが労働力として家計を支えなければならない問題を浮き彫りにする。

プログラム6

9/18(木)0:30pm 9/27(土)10:30am

**顕微鏡からナノ・ワールドへ
一科学映画の挑戦1** [5作品126分]**マリン・スノー ― 石油の起源**

1960年 | 企画:丸善石油 | 製作:東京シネマ | 岡田 桑三 吉見 泰 野田 真吾 大沼 鉄郎 小林 米作 | 25分・35mm・カラー ▶石油の成因を、海中プランクトン起源説をもとに探る。小林米作のミクロ撮影は神秘的なまでの美しさ。

生命の流れ ― 血液を探る

1968年 | 企画:第一製薬 | 製作:電通映画社(現電通テック) | 西尾 豊 八幡 三郎 樋口 源一郎 鈴木 喜代治 | 26分・35mm・カラー ▶血液の成分の動きと巧妙な仕組みを捉え、生体の神秘に迫る。

地球と生命 ― フラスコの中のエコロジー

1973年 | 企画:日立製作所 | 製作:映像プロ | 橋本 逸夫 配 島 央二 杉山 正美 岡田 敏雄 | 23分・16mm・カラー ▶フラスコの中でバクテリア、クロレラ、ラン藻、原生動物、メダカが共存し、安定した生態系が成立することを証明。地球環境における生物の相互依存を考える。

サイエンスグラフィティ 科学と映像の世界

1984年 | 企画:富士写真フイルム | 製作:岩波映画製作所 | 小口 禎三 藤原 季彦 堀 越 慧 関 晴雄 | 26分・35mm・カラー ▶科学研究がいかん進展してきたか、過去の科学映画を回顧しつつ語る。視点の拡大、ミクロの世界、時間のコントロール、コンピュータとの結合など。

ナノワールドに挑む ― 電子顕微鏡が探る極微の世界

1988年 | 企画:日立製作所 | 製作:イメージサイエンス | 大須 賀武 牧口 光郎 坂田 祐次 | 26分・ビデオ・カラー ▶物質を原子のレベルで観測する電子顕微鏡が、半導体や超伝導など最先端の技術の発展に貢献していることを解説。

プログラム7

9/17(水)6:30pm 9/23(火・祝)10:30am

**生命の謎・宇宙の極限を探る
一科学映画の挑戦2** [5作品130分]**ニホンザルの自然社会**

1954年 | 企画:文部省 | 製作:三井芸術プロダクション | 三井 高孟 太田 仁吉 鈴木 喜代治 | 21分・35mm・カラー ▶宮崎県幸島で京都大学・今西グループが研究を開始したニホンザルの群れの生態や行動を初めて映画に記録。

特別天然記念物 ライチョウ

1967年 | 企画:文化財保護委員会 | 製作:日本シネセル | 静 永 純一 下村 兼史 樺島 清一 伊藤 三千雄 赤松 威喜 村瀬 昭夫 | 32分・16mm・カラー ▶高山の環境に適応して進化した、氷河時代の生き残り。ライチョウの生態を日本アルプスの四季を背景に捉える。

ヒトの染色体 ― 生命の秘密を探る

1966年 | 企画:文部省 | 製作:東京シネマ | 岡田 桑三 吉見 泰 大島 正明 豊岡 定夫 | 25分・16mm・カラー ▶北海道大学、牧野 佐二郎 教授の研究をもとに、ヒトの染色体の構成と研究方法、その医学への応用を描く。今日のヒトゲノム解析の基礎。日本の研究水準を示す貴重な記録。

X線天文学への道

1968年 | 企画:文部省 | 製作:岩波映画製作所 | 中清 広 吉原 順平 矢部 正男 中山 正昭 | 21分・16mm・カラー ▶東大の天文台と宇宙航空研究所の共同研究。1966年、さそり座の発するX線の光学的同定に世界初の成功。新しい天文学の姿を紹介。

極限の世界 ― 超高压・超低温・超強磁場

1988年 | 企画:東京書籍 | 製作:東京文映 | 土屋 祥吾 小川 博孝 松本 俊世 | 31分・16mm・カラー ▶人間の生活環境からかけ離れた条件を作り出すと、物質が驚くようなふるまいを始める。極限物性学の一端を紹介する。

プログラム8

9/19(金)0:30pm 9/28(日)4:30pm

**産業社会の基盤を築く
一成長期の産業技術映画1** [3作品127分]**新しい製鉄所**

1959年 | 企画:川崎製鉄 | 製作:岩波映画製作所 | 吉野 馨治 瀬川 順一 伊勢 長之助 | 43分・35mm・カラー ▶東京湾に面した新鋭製鉄所の製鉄過程。映画に登場するストリップルによる薄板の大量生産は、高度経済成長の需要に応える画期的な技術だった。

ルポルタージュ 炎

1960年 | 企画:東京電力 | 製作:岩波映画製作所 | 小口 禎三 黒木 和雄 小村 静夫 | 40分・36mm・カラー ▶193万KW、当時東洋一の規模を誇った横須賀火力発電所の建設記録。監督は、後に劇映画「とべない沈黙」「祭りの準備」などの作品で知られる黒木和雄。

超高層霞ヶ関ビル

1968年 | 企画:鹿島建設 | 製作:日本技術映画社(現カジマジジョン) | 岩佐 氏 寿 大野 洋 | 44分・16mm・カラー ▶地上147メートル、高さ36階、日本初の超高層ビル。現在では考えられないような、高所での危険な作業もカメラに収められ、驚嘆の人間と心の意気を感じられる。

プログラム9

9/19(金)3:30pm 9/23(火・祝)4:30pm

ものづくり立国への道標

一成長期の産業技術映画2 [4作品125分]

機械文明の騎士たち

1960年 | 企画: 津上製作所 | 製作: 日経映画社(現日経映像) | ◎古田保爾◎八幡省三◎問宮則夫 | 26分・16mm・カラー ▶精密機械工業において、10万分の1ミリの精度を迫る優秀な技術と熟練した労働者の必要を説く。

潤滑油

1960年 | 企画: 丸善石油 | 製作: 東京シネマ | ◎岡田泰三◎吉見泰◎小林米作、長谷川博美、豊岡定夫 | 25分・35mm・カラー ▶機械技術の基本的なテーマの一つである「摩擦と潤滑」。製鉄所の巨大なインゴットを押し潰す圧延ロール、内燃機関の発展やジェットエンジンにおける潤滑油の重要性を描く。

巨船ネスアブリ

1961年 | 企画: 三菱造船 | 製作: 岩波映画製作所 | ◎小口禎三◎楠木徳雄◎牛山邦一◎伊勢長之助 | 42分・35mm・カラー ▶昭和30年代、原油輸送のための大型タンカー建造ブームと経済成長の始まりを象徴する造船記録の代表作。進水式のシーンは圧巻。

YS-11新しい日本の翼

1963年 | 企画: 日本航空機製造 | 製作: 日本映画新社 | ◎三輪孝一◎川本博康◎山口武朗 | 32分・35mm・カラー ▶戦後、日本で始めて製造され、世界にその優秀性を誇った短・中距離用ジェットプロップ旅客機の開発過程から公開飛行まで。

プログラム10

9/19(金)6:30pm 9/25(木)0:30pm

豊かな暮らしへの新技術

一成長期の産業技術映画3 [4作品119分]

一粒の麦

1962年 | 企画: 朝日麦酒 | 製作: 日本産業映画センター | ◎田代博茂◎松川八洲雄◎鈴木喜代治、佐藤昌道 | 27分・35mm・カラー ▶ビール麦の種まきから収穫までを記録しつつ、品種改良の努力を描く。

日本のさけます

1964年 | 企画: 日本鮭鱒資源保護協会 | 製作: 日本シネセル | ◎静永純一◎淵美輝男◎稲葉直樹◎樺島清一 | 29分・35mm・カラー ▶日本人にとって貴重な食料資源であるサケ、マス。北洋を回遊し母川に帰る行動パターン、人口孵化から稚魚の放流にいたる水産資源の保護努力。

コールドチェーン―低温で鮮食品を運ぶ仕組み

1965年 | 企画: 科学技術庁 | 製作: 岩波映画製作所 | ◎田中清広◎吉原順平◎西沢豪 | 27分・16mm・カラー ▶鮮食品の低温コントロールで、需要と供給の均衡、品質の規格化、価格の安定化を保とうとする流通機構の考え方を解説。

スピード・トライアル

1966年 | 企画: トヨタ自動車販売 | 製作: 岩波映画製作所 | ◎高木龍太郎◎秋浜哲史◎土屋信篤 | 36分・35mm・カラー ▶トヨタ2000GTが、フォード・コメットの持つ3つの世界記録に挑戦。4日間を平均時速200キロ以上で走り続ける超高速耐久テストの記録。

プログラム11

9/20(土)10:30am 9/23(火・祝)1:30pm

技術の進歩と労働の変容

一成長期の産業技術映画4 [3作品101分]

ある機関助手

1963年 | 企画: 日本国有鉄道 | 製作: 岩波映画製作所 | ◎小口禎三◎土本典昭◎根岸栄 | 37分・16mm・カラー ▶電化を目前に控えた昭和37年、上野〜水戸間でC62型蒸気機関車が牽引する「みちのく」号に取材。安全のために一瞬の気の緩みも許されない機関士と機関助士の重労働。監督は、後に水俣病をテーマに多くの長編記録映画を世に問うた土本典昭。

シップヤードの青春

1969年 | 企画: 日本造船工業会 | 製作: 岩波映画製作

所 | ◎坊野貞男、高橋宏暢◎清水邦夫◎神馬玄佐雄◎小倉剛 | 44分・35mm・カラー ▶近代化された造船所。入社3年目の若い溶接工が、日々の労働や生活に疑問を感じ、自分の青春や前途を見つめる。

見えない鉄道員

1970年 | 企画: 日本国有鉄道、鉄道サイバネティクス協議会 | 製作: 岩波映画製作所 | ◎田村勝志◎吉原順平◎堀越慧 | 20分・16mm・カラー ▶集中制御方式による新幹線の列車運行、貨物列車の自動仕上げなど、鉄道員と「見えない鉄道員」=コンピュータとの対話から成り立つ今日の鉄道を紹介。

プログラム12

9/20(土)1:30pm 9/24(水)0:30pm

公害・環境汚染と向きあう

[3作品89分]

農薬禍

1967年 | 製作: グループ現代 | ◎古川良範、西原春人◎小泉修吉◎平福貞文◎若月俊一 | 38分・16mm・カラー ▶レイチェル・カーソンの『沈黙の春』から着想、企画。農村に取材(長野県 佐久病院が協力)し、農薬が自然界と人間に与える恐ろしい影響を警告した先駆的作品。(映画で問題とされる農薬は、現在では使用禁止)

黒い霧

1965年 | 企画: 住友重機械工業 | 製作: 学習研究社 | ◎原正次、石川茂樹◎秋山智弘◎定村武士◎佐竹荘一 | 27分・16mm・カラー ▶スモッグの原因、煤塵や有毒ガスが生態に及ぼす影響、ガンの誘因となることなど、大気汚染を科学的に解明。

生体と大気汚染

1972年 | 企画: 東京都公害研究所 | 製作: シネサイエンス(現アイカム) | ◎◎◎武田純一郎◎長谷川久久 | 24分・35mm・カラー ▶大気汚染が動物の体に与える被害の観察・記録。

プログラム13

9/20(土)4:30pm 9/25(木)6:30pm

ヒロシマ・ナガサキと沖縄の記録

[5作品108分]

永井博士の思い出

1951年 | 企画: 長崎市 | 製作: 日本映画新社 | 12分・35mm・白黒

朝日ニュース363号 9月14日特報原爆犠牲第一号(ノーマヒロシマの叫び)

1952年 | 製作: 日本映画新社 | ◎大塚淑生 | 10分・35mm・白黒

ヒロシマ原爆の記録

1970年 | 企画: 広島市 | 製作: 日本映画新社 | ◎堀場伸世、三輪孝一◎小笠原基生、松川八洲雄◎杉崎理◎宇野重吉 | 30分・16mm・白黒 ▶GHQに没収された「原子爆弾の効果・広島、長崎」(日本の製作者と科学者の協力によって完成)の返還を期に、20数年を経た当時も残る被爆の影響の実態を訴える。「被爆直後の広島の状況が、例えその一部とはいえ、映画として公開されたのはこれがはじめてである。」(田中純一郎) 1952年に広島編と長崎編の2本のニュース映画が製作された。これは、サンフランシスコ講和条約発効後、日映社内に密かに保管されていたラッシュフィルムを編集したもの。このうち広島編と前年に原爆症で死去した永井隆博士を追悼する「永井博士の思い出」を、時系列で紹介する。

沖縄の母たち

1970年 | 企画: 貯蓄増強中央委員会 | 製作: 桜映画社 | ◎◎◎村山英治◎大島善助◎加藤和三 | 30分・35mm・カラー ▶返還前の沖縄。女性たちの生活や教育をめぐる問題を取材。

戦場ぬ童(いさばぬわらび)

1985年 | 製作: 「戦場の童」製作委員会 | ◎上地完道、与儀睦榮◎橋祐典◎上地完道、知念稔、佐藤透、与那良則◎海勢頭豊 | 26分・16mm・カラー ▶沖縄戦40年を期に当時の記録フィルムの収集(1フィート運動)を背景に製作。悲惨をきわめた沖縄戦の実相を、沖縄の視点から描く。

プログラム14

9/21(日)10:30am 9/24(水)6:30pm

新鮮な企画をスポンサーシップの試み

[3作品104分]

たすけあいの歴史―生命保険のはじまり

1973年 | 企画: 生命保険協会 | 製作: 桜映画社 | ◎村山英治◎村山正実◎杉井ギサブロー◎問宮芳生◎岸田今日子 | 25分・35mm・カラー ▶中世の修道院の募金に始まる生命保険の歴史を描くアニメーション。ストーリーの面白さ、杉井ギサブローのアニメーションが、シークエンス毎に手法を変える凝りようが、大きな魅力。

刈干切り唄

1959年 | 企画: 貯蓄増強中央委員会 | 製作: 記録映画社 | ◎◎◎上野耕三◎金山富男 | 42分・35mm・白黒 ▶天孫降臨の伝説の地、日向・高千穂の山村にたくましく生きる人々の暮らしぶり。

母たち

1967年 | 企画: プリマハム
製作: 電通・藤プロダクション | ◎工藤充◎松本俊夫◎鈴木達夫◎湯浅譲二◎寺山修司 | 37分・35mm・カラー ▶プリマハム創業35周年記念映画。簡単な企画書だけで海外へ出、風俗、社会的背景、人種のちがいを超えて、愛と平和を象徴する母たちの姿を追う映像詩。「西障」など実験的な作品で知られる松本俊夫監督の映像に寺山修司が詩をつけた。

プログラム15

9/21(日)1:30pm 9/25(木)3:30pm

美術映画の傑作たち―文化遺産を伝える1

[4作品112分]

桂離宮

1956年 | 企画: 文化財保護委員会 | 製作: 電通映画社(現電通テック) | ◎小畑敏一、村治夫◎高木俊朗◎栗林実 | 22分・35mm・カラー ▶ブルーノ・タウトが絶賛した、桂離宮の建築構造の特徴や美しさを、さまざまな角度から克明に表現した秀作。

鳥獣戯画

1966年 | 製作: 映像社・七人の会 | ◎◎◎藤原智子、富沢幸男◎堀田正巳◎松川八洲雄◎大沼鉄郎、杉山正美、杉原せつ | 24分・35mm・カラー ▶国宝<紙本墨画鳥獣人物戯画>の映画化に、気鋭の六人の映画監督と一人のカメラマンが挑んだ異色作。

彫る 棟方志巧の世界

1975年 | 製作: 毎日映画社、美術映画製作協会 | ◎草壁久四郎◎◎◎柳川武夫◎杉山義法◎田中正 | 38分・16mm・カラー ▶独自の作風で知られる版画家、棟方志巧の芸術とその飄々とした人柄を生き生きと捉えた傑作。

山雲涛声―唐招提寺障壁画の記録

1976年 | 企画: 日本経済新聞社 | 製作: 日経映画社(現日経映像) | ◎田島正蔵◎◎◎小谷田巨◎赤津光男 | 28分・35mm・カラー ▶日本画家 東山魁夷が、10年の歳月をかけて完成させた唐招提寺御影堂の障壁画の製作過程の記録。日本画の神髄と精妙な技法に迫る。

プログラム16

9/21(日)4:30pm 9/26(金)0:30pm

芸能行事を記録する―文化遺産を伝える2

[3作品122分]

文楽

1969年 | 企画: 国立劇場 | 製作: 日映科学映画製作所 | ◎高田清文◎藤原智子◎中村麟子◎高山富雄 | 31分・35mm・カラー ▶義太夫節に重点をおき、その発生から徹底的修行、音楽的な特性までを解説。太夫 竹本越路太夫、三味線 鶴澤寛治、人形 桐竹文十郎、吉田栄三。

日本の稲作―そのことと伝統

1974年 | 企画: 文化庁 | 製作: 英映画社 | ◎高橋銀三郎◎青山通春◎宮下英一 | 42分・35mm・カラー ▶「稲作の近代化に伴い次第に減りゆく旧来の行事や伝承を、日本文化の基礎として追及した労作」(田中純一郎)。

世阿弥の能

1991年 | 企画:ポラ伝統文化振興財団 | 製作:桜映画社 | ◎村山和雄、福岡順子◎◎村山正実◎西山東男 | 49分・35mm・カラー ▶ 能の確立と世阿弥の生涯。父親阿弥が、猿楽や田楽などから発展させた能の様式を、さらに時空を超越する「夢幻能」へと洗練させた創作の秘密。

プログラム17

9/18(木)3:30pm 9/26(金)6:30pm

トップランナーたちの肖像

—科学・技術分野の近作から [3作品129分]

大は小を兼ねるといえども

1997年 | 企画:科学技術振興事業団 | 製作:読売映像 | ◎古田誠宏◎牧東◎◎中神賢史 | 21分・ビデオ・カラー ▶ 河内啓二氏の「微小流動プロジェクト」研究の映像化。植物の種子からトンボやチョウ、ジャンボジェットにいたる飛行のメカニズムの追及。

世界最大の光電子増倍管をつくる — スーパーカミオカンデ建設記録

1996年 | 企画:浜松ホトノクス | 製作:岩波映画製作所 | ◎福島継一◎岩崎哲◎渡辺雄志◎田島正晴 | 13分・ビデオ・カラー ▶ 素粒子ニュートリノによる天文学を開拓した小柴昌俊東京大学名誉教授のノーベル賞

受賞で一躍有名になったスーパーカミオカンデの建設記録。

映像評伝 仁科芳雄 — 現代物理学の父

1991年 | 企画:岡山県浅口市里庄町 | 製作:山陽映画 | ◎疋田順平◎◎野崎健輔◎宇野竜治 | 95分・16mm・カラー ▶ 仁科芳雄は、量子力学の成立期にその主要な舞台となったコペンハーゲンのボーア研究所で研鑽を積み、帰国後、理化学研究所を拠点に日本の原子物理学の指導者として、湯川、朝永ら多くの優れた研究者を育てた。第二次世界大戦とサイクロトロンへの運命など、戦争の時代を研究者・指導者として生き抜いた平坦ならざる生涯を描く秀作。

プログラム18

9/18(木)6:30pm 9/26(金)3:30pm

日本文化の再発見

—文化・記録分野の近作から [4作品123分]

浮世絵摺師

1993年 | 製作:東京映像社 | ◎大滝勝◎◎遠藤伸幸◎小林幸男、小市秀明 | 25分・ビデオ・カラー ▶ 江戸職人気質を今に受け継ぐ長尾直太郎氏の摺師の技を記録。長尾氏の江戸弁の語り口も魅力。

おぼんざい歳時記 — 庶民の味覚と四季

1996年 | 企画:キッコーマン | 製作:岩波映画製作所 | ◎菅澄子◎◎山崎博◎◎奥村祐治 | 27分・16mm・カラー ▶ 京都に古くからあった食の生活様式。「おぼんざい」とは惣菜のこと。何の日に何を食するというきたりに、庶民の知恵を探る。

都市はじめて物語 — モダン昭和の東京

1996年 | 企画:大成建設 | 製作:桜映画社 | ◎村山英世◎◎北里宇一郎◎◎原村政樹◎◎西川浩史 | 30分・16mm・カラー ▶ 関東大震災を経た昭和初期の東京は、現代の都市生活の原型が整った頃であった。現存する当時のすぐれた建造物を映像で記録。

神々のふるさと 出雲神楽

2002年 | 企画:ポラ伝統文化振興財団 | 製作:英映画社 | ◎宮下英一◎◎菅野均◎◎松川八洲雄◎◎小林治、八幡洋一 | 41分・35mm・カラー ▶ 神楽は、地域の人々が神を招いて五穀豊穡を祈る神事芸能。出雲地方(島根県)のそれぞれ特徴をもつ神楽に取材。ヤマタノオロチ退治を中心に神楽と人々の交流を描く。

■ 製=製作 ◎=原案 企=企画 脚=脚本
監=監督 演=演出 撮=撮影 構=構成 編=編集
音=音楽 出=出演 語=語り

■各上映作品の詳細は、映像文化製作者連盟のホームページでご覧いただけます。http://www.eibunren.or.jp/50th

月	火	水	木	金	土	日
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
休館	プログラム1 0:30pm [2作品97分]	プログラム4 0:30pm [5作品89分]	プログラム6 0:30pm [5作品126分]	プログラム8 0:30pm [3作品127分]	プログラム11 10:30am [3作品101分]	プログラム14 10:30am [3作品104分]
	プログラム2 3:30pm [3作品125分]	プログラム5 3:30pm [3作品100分]	プログラム17 3:30pm [3作品129分]	プログラム9 3:30pm [4作品125分]	プログラム12 1:30pm [3作品89分]	プログラム15 1:30pm [4作品112分]
	プログラム3 6:30pm [4作品120分]	プログラム7 6:30pm [5作品130分]	プログラム18 6:30pm [4作品123分]	プログラム10 6:30pm [4作品119分]	プログラム13 4:30pm [5作品108分]	プログラム16 4:30pm [3作品122分]
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
休館	プログラム7 10:30am [5作品130分]	プログラム12 0:30pm [3作品89分]	プログラム10 0:30pm [4作品119分]	プログラム16 0:30pm [3作品122分]	プログラム6 10:30am [5作品126分]	プログラム2 10:30am [3作品125分]
	プログラム11 1:30pm [3作品101分]	プログラム3 3:30pm [4作品120分]	プログラム15 3:30pm [4作品112分]	プログラム18 3:30pm [4作品123分]	プログラム1 1:30pm [2作品97分]	プログラム5 1:30pm [3作品100分]
	プログラム9 4:30pm [4作品125分]	プログラム14 6:30pm [3作品104分]	プログラム13 6:30pm [5作品108分]	プログラム17 6:30pm [3作品129分]	プログラム4 4:30pm [5作品89分]	プログラム8 4:30pm [3作品127分]

協賛(順不同)



[社]企業メセナ協議会認定



Your Vision, Our Future





アサヒビール



キッコーマン
国際食文化研究センター









Inspire the Next









科学振興仁科財団(岡山県里庄町)

浜松ホトノクス株式会社

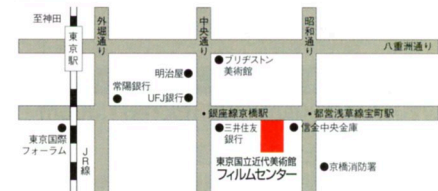
財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

後援(順不同)

財団法人 国際文化会館
ITVA-日本
社団法人 日本映画テレビ技術協会

社団法人 日本テレビコマーシャル制作社連盟
社団法人 日本産業映画協議会

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo
東京都中央区京橋3-7-6



営団地下鉄 銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄 浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
営団地下鉄 有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東横線 八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ: http://www.momat.go.jp/

表紙: 左上「ある機関助士」、左下「マリノ・スノー — 石油の起源」右上から「空気のなくなる日」、「スピード・トライアル」、「ひとりの母の記録」、「彫る 棟方志巧の世界」、「特別天然記念物 ライチョウ」、「支那事变後方記録 上海」